Personal Protective Equipment (PPE)

MONTHLY SAFETY BRIEF
May 2003

個人保護具を使用する場合、従業員はその危険を認識し、適切な個人保護具についてのトレーニングを受けなければなりません。 従業員は保護具を着用したからと言って、危険が完全に無くなった訳ではないことを理解する必要があります。間違った個人保護具を着用したり、自分にあわない個人保護具を使用した場合などでも危険にさらされます。

個人保護具を正しく着用、保管、管理し、また清潔で使用可能な状態にしておく事が、危険を減少させます。**個人保護具は着用前に必ず点検を行うこと。もし個人保護具に損傷個所を見つけたら、絶対に使用しないことです。**

仕事にあった正しい道具を選び、正しい個人保護具を着用することは重要です。また監督者と従業員が個人保護具の目的とその限界を理解することも必要です。個人保護具の選択を行う前に、その仕事に特有の危険に対して最新の、最も安全な作業方法の情報を入手しましょう。**化学物質薬品に関する情報は、五年以内の物質安全データシート（ＭＳＤＳ）を参考にすると良いでしょう。物質安全データシートは販売代理店および厚木基地補給部ハズマット（厚木軍電: ２６４—３９３０）にて入手可能です。**